



氏名 赤坂清和

年齢 55

所属 埼玉医科大学 保健医療学部理学療法学科

立候補の趣旨

理学療法士の学術を発展させることは、臨床における患者様の治療に応用されるだけでなく、将来的な理学療法士の身分や権利など医療や教育などの仕組みに大きく影響を与えると考えています。平成25年の日本運動器理学療法学会の設立以降、運営幹事として活動し、平成28年度は第3回日本運動器理学療法学会ブロック学術小集会関東甲信越ブロックの大会長、そして第3回日本運動器理学療法学会学術集会の副大会長を務め、特別講演を担当させていただきました。また、2021年度に日本運動器理学療法学会が法人化してから理事として、また2022年仙台にて開催予定の第10回日本運動器理学療法学術集会の副大会長として現在鋭意準備を進めています。

今後は、米国留学や海外での学会参加、海外での理学療法士養成教育及び臨床施設や研究施設との交流活動で得た知識やネットワークを駆使して、国際標準の理学療法に到達するために、日本における臨床と教育、そして学術の連携を強化するために、その架け橋となる役割を果たしていこうと考えています。また、昨年秋に完成した理学療法ガイドライン出版では、日本運動器理学療法学会およびガイドライン全体の取りまとめ役を務めました。これまで以上に会員各位に活用されるガイドラインとなり、理学療法に関連する医師や他の医療職等からも評価されるように継続して努力していきます。

私はこれまでの埼玉県理学療法士会および日本理学療法士協会での活動を踏まえ、日本運動器理学療法学会の皆様と将来にわたり最大の利益となるように活動していこうと考え、日本運動器理学療法学会運営幹事に立候補させていただきました。立候補の趣旨にご理解いただくとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

役員歴

埼玉県理学療法士会（理事 [H13年度以降12年間]）、日本理学療法士協会代議員
2013年 日本運動器理学療法学会運営幹事（2013年設立以降）
2016年 第3回日本運動器理学療法学会ブロック学術小集会（さいたま市、大会長）
2016年 第3回日本運動器理学療法学会学術集会（金沢市、副大会長）
2021年 日本運動器理学療法学会理事
2022年 第10回日本運動器理学療法学会学術集会（仙台市、副大会長）